



株式会社 協和精工

## 2024 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2024 年6月1日～ 2025 年5月31日)



作成日: 2025年6月1日

## 目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	12



## 環境経営方針

### <環境経営理念>

当社は、企業理念「いい会社をつくろう」を掲げ、このすばらしい伊那谷の自然環境を守る為、企業活動を通して、未来に向けて自然と共生する社会を目指します。

### <環境保全への行動指針>

当社は、環境理念を実現する為、環境に配慮した精密機械部品製造・電気機器商品を開発から製造まで手掛けています。

そして、生産活動と日常業務(本来の業務)の中で絶えず環境改善に努めてまいります。  
この環境方針を達成するために、エコアクション21・環境経営ガイドラインに準拠した環境マネジメントシステムを確立して、環境目的・目標の設定し、定期的な見直しを通じて環境負荷の低減活動を進めていきます。

1. RoHS指令、REACH指令、国内外の関連する環境法令、規制、及びその他の要求事項を遵守します。
2. 環境活動をCSR活動の一環として積極的に進めていきます。
3. 生産活動と日常業務(本来の業務)の中で、不良品の削減、紙、電気、廃棄物の削減に努め二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
4. 廃棄物の排出量削減に努め、再資源化等のリサイクル活動を推進します。
5. 工場排水の管理基準を守り汚染防止に努めます。
6. 化学物質の適切な管理・運用を進め、使用量の削減に努めます。
7. 購入品、納入品に関して、グリーン調達を推進します。
8. 環境に配慮した製品の開発、設計を行い環境保全に取り組みます。
9. 工場及びその周辺地域の環境美化活動を推進します。
10. 社員一人ひとりの環境意識を高め、全社員が一致協力して社内はもとより地域社会においても環境保全活動を遂行します。



制定日：2019年6月1日

株式会社 協和精工  
代表取締役社長 橋場 浩之

## □組織の概要

更新日：2025年8月20日

### (1) 名称及び代表者名

株式会社 協和精工  
代表取締役社長 橋場 浩之

### (2) 所在地

本 社 工 場 長野県下伊那郡高森町山吹 1646-5

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 第2事業部部长 澤柳 修一 TEL:0265-49-0740  
担当者 総務部 山崎 優子 TEL:0265-35-8288

### (4) 事業内容

電気機器(電磁クラッチ、電磁ブレーキ等)の設計・製造、設備機器・医療機器用の精密加工部品の製造及び機械機器(減速ギヤ機構等)の製造

### (5) 事業の規模

売上高	302,100 万円	
	本 社 工 場	合 計
従業員	名 207 名	207名
延べ床面積	m <sup>2</sup> 5,759 m <sup>2</sup>	5,759m <sup>2</sup>

### (6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 協和精工  
対象事業所: 本 社 工 場

## □事業や製品の紹介



精密部品加工は、半導体製造装置や医療用検査測定機向けの部品として使用され、高い加工精度と、安定した品質が求められています



オリジナルデザインの電磁ブレーキは、産業用ロボットをはじめサーボモータ向けに使用され、自動車や半導体などの製造に貢献しています



水圧計 (津波計) 地震センサ部 光アンプ部 伝送部



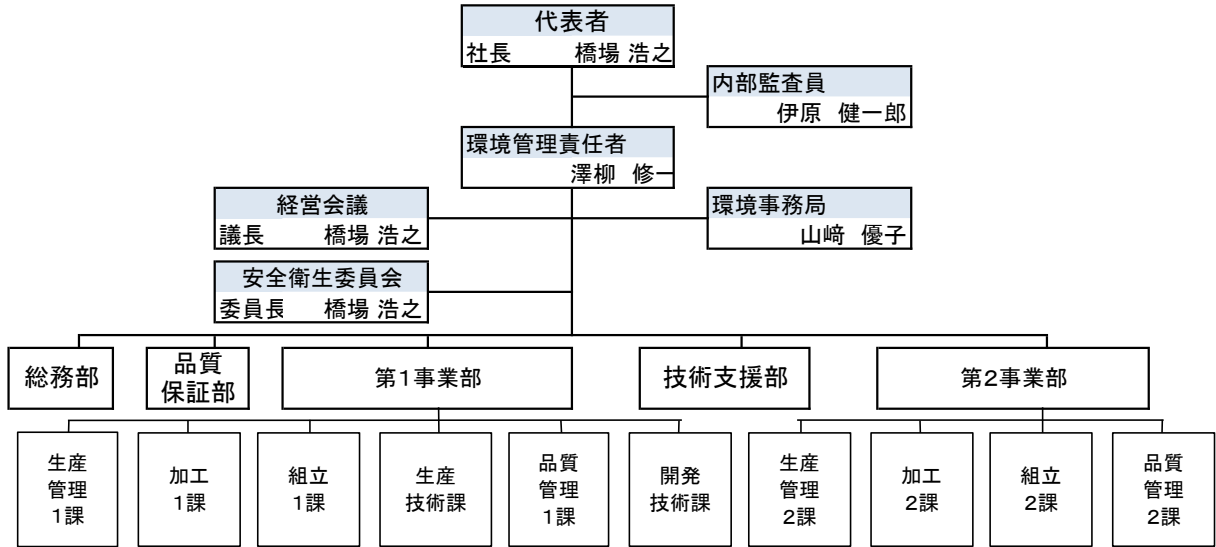
当社が組立てた地震津波計は、日本海溝をはじめとした海底に設置され、地震や津波の発生を監視。災害の防止、安全な暮らしの確保に貢献しています



当社で設計し組立てた実験機は、地球を離れ国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」に搭載され、物質の測定、新たな素材の合成などに貢献しています

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2025年2月11日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、安全衛生委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
安全衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全衛生委員会を通じ、環境負荷低減活動を実施</li> <li>・工場内外の5S巡回を実施し、指導及び指摘の改善を指示する</li> <li>・安全衛生委員会の開催(1回/月)と議事録の作成</li> <li>・環境事務局の運営の協力支援</li> <li>・環境管理責任者及び、社長への環境経営活動に関する提言</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に関する内部監査の計画</li> <li>・環境に関する内部監査の実施・報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,091,794	1,018,023	1,149,967
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	7,110	6,040	5,940
産業廃棄物排出量	kg	102,470	81,360	81,910
水使用量	m <sup>3</sup>	3,769	5,529	3,240
※二酸化炭素排出係数	0.421 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	電力会社の調整後の係数		

□環境経営目標及びその実績

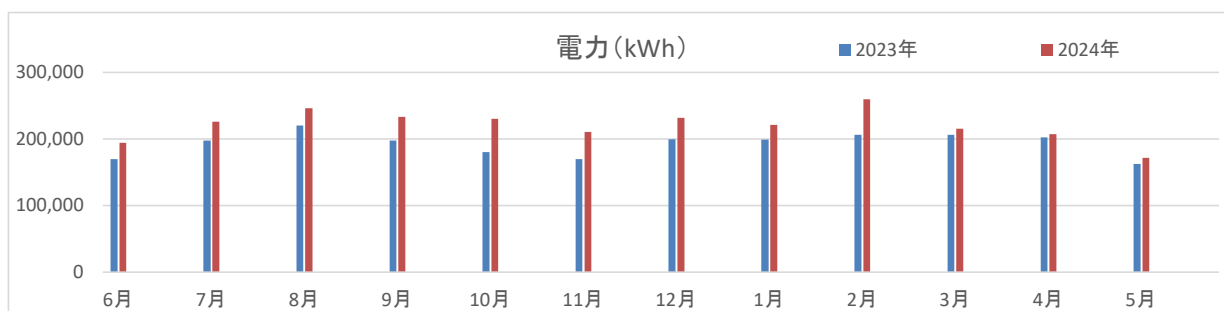
項目	年度	基準値 (基準年)	2024年		評価	2025年 (目標)	2026年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	982,092	972,271	1,114,689	×	962,450	952,629
	基準年度比	2023年	99%	114%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	951	941	1,174	×	932	922
	基準年度比	2023年	99%	123%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	5,607	5,551	5,919	×	5,495	5,439
	基準年度比	2023年	99%	106%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	29,373	29,080	28,185	○	28,786	28,492
	基準年度比	2023年	99%	96%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	1,018,023	1,007,843	1,149,967	×	997,663	987,483
一般廃棄物の削減	kg	6,040	5,980	5,940	○	5,919	5,859
	基準年度比	2023年	99%	98%		98%	97%
プラ廃棄物の削減	kg	4,280	4,237	4,680	×	4,194	4,152
	基準年度比	2023年	99%	109%		98%	97%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	5,529	5,474	3,240	○	5,418	5,363
	基準年度比	2023年	99%	59%		98%	97%
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

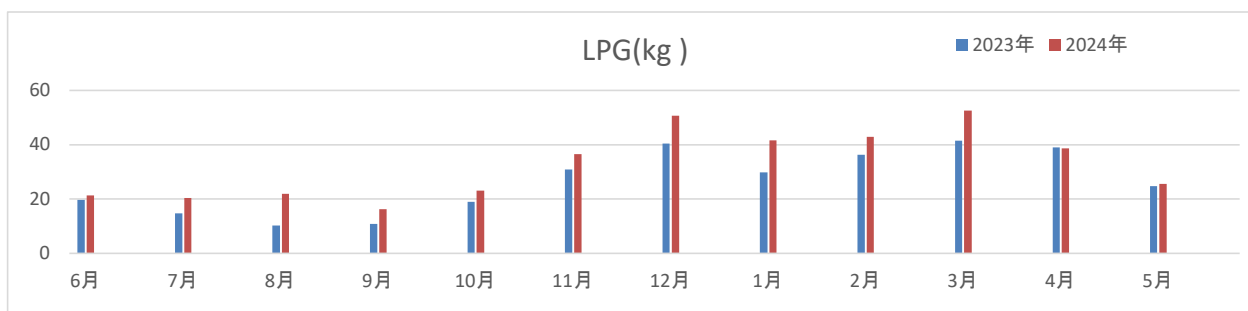
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【取組結果】
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	年間において生産が増加したため電気の使用量の増加がみられた 【次年度の取組計画】 全体朝礼にて電気使用料の共有の継続。 照明、PCでの節電は引きつづき呼び掛けていく。
・不要照明の消灯	○	
・蛍光灯のLED化(随時切替)	○	



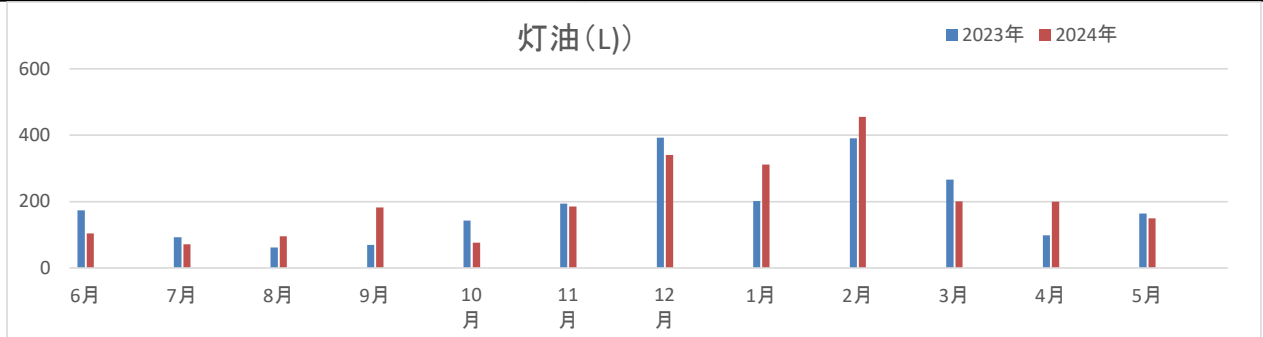
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	169,669	197,223	220,169	197,460	180,445	169,819	199,562	198,913	206,208	206,208	202,423	162,671
2024年	194,018	226,059	246,128	233,298	230,630	210,559	231,851	220,817	259,646	215,446	207,372	171,893

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【取組結果】
・GHPからEHPへ切り替え	×	受注量とLPGの使用量は比例するため受注増の本年は目標未達となった 【次年度の取組計画】 設備的に使用できる間は切替が難しい。設備買換えのタイミングが切替時と考える。



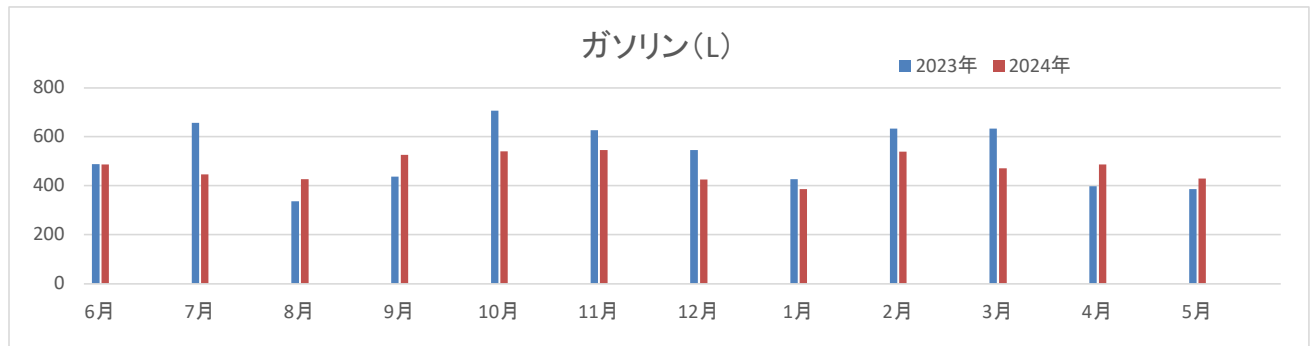
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	20	15	10	11	19	31	40	30	36	42	39	25
2024年	21	20	22	16	23	37	51	42	43	53	39	26

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	<b>【取組結果】</b> 洗油で使用した廃油は廃棄することなくリサイクル品として回収。 <b>【次年度の取組計画】</b> 廃油のリサイクルは継続。 洗油として使用する油の代替の検討をしていきたい。
・使用量削減の啓蒙	○	

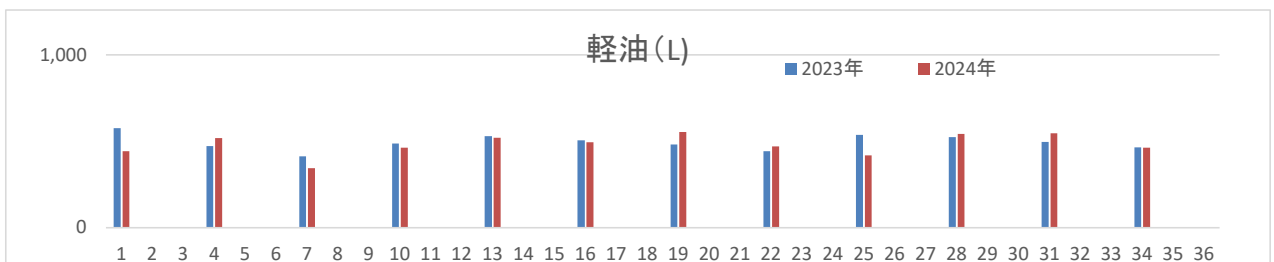


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	174	93	62	70	143	195	393	202	391	267	98	165
2024年	104	72	96	183	77	185	340	312	456	201	200	150

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	<b>【取組結果】</b>  <b>【次年度の取組計画】</b> エコドライブを心がけるよう社内教育していく。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エコドライブなど運転方法の配慮	○	
・タイヤ空気圧を適正に保つ	○	

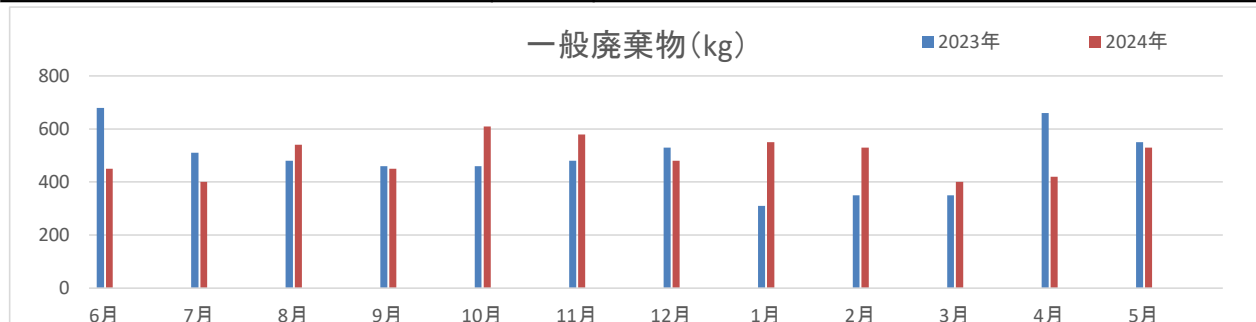


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	488	656	337	438	708	628	546	427	633	633	398	387
2024年	486	446	427	526	541	546	426	387	540	472	487	430



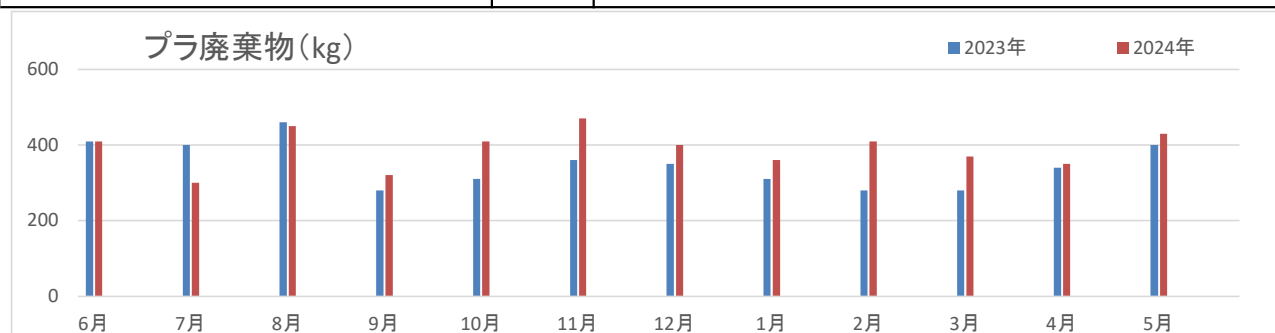
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	577	472	413	488	530	506	481	444	538	525	498	466
2024年	444	518	345	464	522	494	556	471	420	544	547	464

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【取組結果】 分別を徹底しゴミの排出ルールに従った処分ができた。 【次年度の取組計画】 廃棄物の量は生産数に比例する傾向にあり、受注増でも分別ルールは徹底したた効果が出た。
・分別の徹底	○	
・廃棄物削減の啓蒙	○	



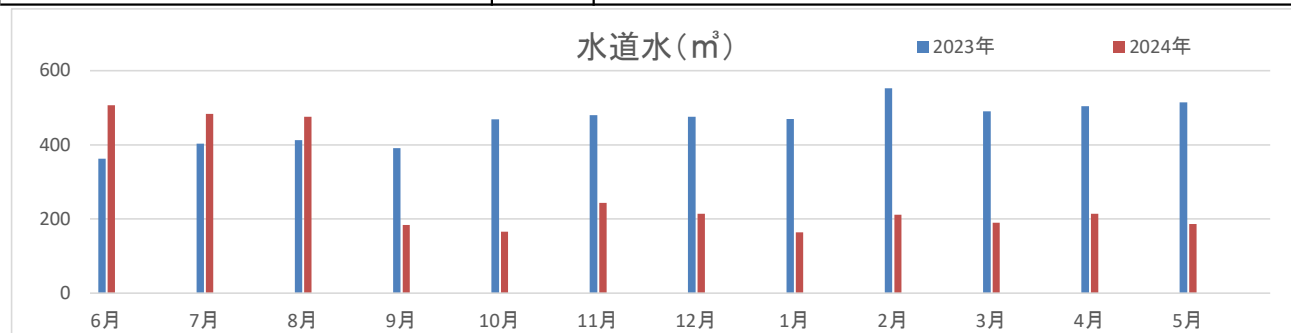
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	680	510	480	460	460	480	530	310	350	350	660	550
2024年	450	400	540	450	610	580	480	550	530	400	420	530

プラ廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【取組結果】 分別を徹底しゴミの排出ルールに従った処分ができた。 【次年度の取組計画】 廃棄物の量は生産数に比例する傾向にあり、受注増でも分別ルールは徹底したい。
・分別の徹底	○	
・廃棄物削減の啓蒙	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	410	400	460	280	310	360	350	310	280	280	340	400
2024年	410	300	450	320	410	470	400	360	410	370	350	430

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【取組結果】 使用量増加の原因を特定し修繕を行った。 【次年度の取組計画】 節水の呼びかけの継続。
・節水シャワーヘッドへの交換	○	
・節水への声掛け、啓蒙	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	363	404	413	391	469	480	476	470	553	491	504	515
2024年	507	484	476	184	166	243	214	164	211	190	214	187

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

廃棄物処理法	廃棄委託業者の許認可の確認、保管基準、マニフェスト交付
下水道法	簡易分離槽の清掃(年2回)
水質汚濁法	油及び有害物質流出事故発生時の措置と届出
フロン排出抑制法	業務用空調機・恒温槽、冷蔵庫、空気圧縮機
化学物質排出把握管理促進法	SDSの受取
労働安全衛生法	SDS義務のリスク評価
消防法(危険物)	指定数量未満の危険物保管
グリーン購入法	購入品・調達品・購入先・外注先

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

2024年10月16日に自主防災隊の放水訓練を実施。その後、水道下流にある企業様(吉清様)より、水道水の濁りが発生したと、高森町役場へ連絡が入った。消火訓練においては、町役場へ届出を行い正式な方法で実施されたが、水圧の関係で水道水の濁りが発生したとみられる。町にて水抜きを行い濁った水を排出する作業が行われた。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定:地震・火災	
■実施日: 2024/10/24	■実施場所: 本社工場
■参加者: 本社工場 全従業員	
■実施内容: <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input type="checkbox"/> 避難訓練	
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
昨年に引き続き全従業員参加での避難訓練を実施することができた。事前の各班での打ち合わせの際、役割分担等を検討。緊急連絡配信ツールきずなネットを用いた訓練配信も実施した。	
■実施状況の様子	
各班訓練様子	
救命班	搬出班
	
消火班	避難誘導班
	
きずなネットを用いた訓練配信	
<p>【安否確認 訓練】地震発生 【安否確認メールです。】</p> <p>こちらは協和精工防災連絡担当です。</p> <p>10月24日発生した地震に関する安否確認メールです。 下記の回答ページへアクセスし、安否確認・状況についてご回答ください。</p> <p>以上</p>	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年6月1日

58期の環境経営活動について、EA21に基づく運用状況および各部門の取り組み内容を確認した。当社は金属加工を主力とする製造業であり、加工機械の稼働に伴う電力使用は事業活動上避けられないものの、照明や空調などの使用状況を見直し、無駄の排除に取り組むことで電力使用量の抑制を図っている。

また、資源リサイクルの推進や廃棄物削減についても、分別の徹底や運用改善を通じて継続的な取り組みが行われており、環境負荷低減に向けた活動が定着しつつあると評価する。

今後も、現状の取り組みを継続するだけでなく、数値の推移を確認しながら改善につなげる意識を持ち、環境負荷低減と生産性向上の両立を図ることを指示する。

地域のリーディングカンパニーとしての責任を自覚し、SDGsの理念を踏まえた環境経営を引き続き推進していく。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## □これまでの環境活動の紹介

- 「健康経営」への取り組み  
社員が24時間365日使用できるフィットネスジムを社内に併設。個人の用途に合わせ、身体を動かす機会を提供している。

活動量計を社員全員に配布し、100歩1円として買取り健康増進費として1クールごと支給している。



- 特別産業廃棄物「灯油」を有価買取りでリサイクルの継続  
今まで、特別産業廃棄物として排出していた、加工工程で洗浄油として使用されていた灯油を、処分業者様と協議・成分分析等をした結果、リサイクル可能と判断。廃油扱いからリサイクル扱いへの切り替えを行い継続してリサイクル品としての排出を行っている。

- 全体朝礼時に電気使用量の報告  
毎月の電気使用料を社員に把握してもらい、節電意識を向上させる取り組みの一環で月に1度の全体朝礼にて電気使用量の報告を開始した。前年同月比・前月比の報告を継続している。



- 社内及び会社周辺の大掃除の様子  
年2回(夏季・冬季)に実施する大掃除。本年度は9月のみの実施となった。会社内と地域貢献のために会社周辺の草刈りやゴミ拾いを実施。

